

日本香粧品学会誌 執筆要領

(平成 28 年 10 月改訂)

1. 原稿の書き方

1.1 一般論文の形式はなるべく 1. 緒言, 2. 実験, 3. 結果, 4. 考察 とする(総括は省略)。ノート, 速報, 報告もほぼこれに準じ, 簡潔に書くこと。

また, ヒトを対象とした試験は, 被験者の自由意思により行われ, 被験者の人権と安全に十分配慮されていること。

1.2 論文を小刻みに分割しての提出は避けること。

1.3 文章は簡潔に常用漢字と現代仮名づかいを用いて書くこと。外国の人名, 地名, 会社名などは原則として欧文とし, これらは 1 字目を大文字として, 2 字目からは小文字で表記する。

1.4 原稿の 1 枚目には,

1) 題目, 副題(題目が大題目の場合), 筆者名(姓の欧文表記は大文字), 所属機関およびその所在地を和文および英文で記載する。

2) 投稿代表者(corresponding author)の氏名, 連絡先住所, 電話・FAX 番号, E-mail アドレスを記載する。

3) 上欄に一般論文, ノート, 速報, 報告の別を付記する。

4) 希望別刷部数を記し, 別刷請求先を明示する。

なお, 継続した研究を発表する場合は直前の報告の所在を下例に準じ, 脚注に加える。

[例] 注 1) 前報: 香粧会誌, 2: 1 (1978)

1.5 英文要旨は論文の趣旨および結論を適切に表現すること。英文についてはネイティブチェックを受けることが望ましい。

1.6 行を改めるときは 1 コマ空けて書き始めること。

1.7 数字は算用数字を用い, 各種数値は次のように記すること。たとえば, 3 分 28 秒, 1.5 cm, 1 cm², 0.5 ml, 1.8 l, 2.5 mg, 3.8 g, 5.3 mg/l, 37.2℃ などとする。

1.8 本文中の語句に注を加える場合はその右カタに注 1) のように上ツキ記号を付け, 原則としてそのページの脚注に注 1) として書き, 本文との間に線を入れること。注の番号は通し番号とする。

2. 用語

2.1 学術用語はなるべく最新刊の文部省学術用語集(南江堂)等によること。普通に用いられる外国語の術語は片仮名とする。

2.2 日本語で書くときわかりにくい場合は英語を併記のこと。(印刷に際しての取り扱い編集委員会に一任のこと。)

3. キーワード

論文に出てくる物質, 事項などについて, その論文を検索する際に利用できるキーワードを英語表記で 5 個以内選択し, 列記する。

4. 記号, 符号, 数式など

4.1 記号, 符号は国際的に慣用されたものを, 単位は原則として SI 単位系を用いること。

[例] 長さ: m	電 流: A
質 量: kg	力 : N
容 量: l	圧 力: Pa
時 間: h	秒 : s
熱 量: J	熱力学温度: K
コンダクタンス: S	
物質質量: mol	粘 度: Pa·s
光 度: cd	表面張力: N/m

SI 接頭語を用いて, その 10 の整数乗倍を示す(例 10³: キロ (k), 10²: ヘクト (h), 10¹: デカ (da), 10⁻¹: デシ (d), 10⁻²: センチ (c), 10⁻³: ミリ (m), 10⁻⁶: マイクロ (μ))。

4.2 数式は原則として, $\frac{a}{b}, \frac{a+b}{c+d}$ のように書くこと。

本文中に出てくる場合は a/b, (a+b)/(c+d) のように 1 行に書くこと。この場合 a/bc については a/(bc) のように必ず () を付け a/bc とはしないこと。

5. 図 表

5.1 図はできるだけ簡潔に表し, 英文要旨を合わせれば論文内容が大筋わかるよう留意する。

5.2 同一のデータは表または図のいずれかで表し, 重複は避けること。

5.3 図(写真を含む)と表は表題, 説明などを原則としてすべて英文とする。図は下に Fig. 1, 表は上に Table 1 などと書く。図表はたとえばそれが一つしかない場合にも必ず Fig. 1, Table 1 とすること。

5.4 図中の記号は○, △, □, ◇, およびこれらの黒塗りなどで示すこと。図の掲載時の大きさは 1/2 ~ 1/3 (面積で 1/4 ~ 1/9) になるので, 点の大きさには特に注意すること。

5.5 図表と写真は幅 8 cm または 16.5 cm (目安として 1 点 250 文字に換算) とするが, 特に希望があれば大きさを指定すること。

5.6 図中の文字は黒で書き, できるだけ記号を用い, 1 枚ごとに筆者名, 総枚数および通し番号(たとえば 6 枚中の 2) を書くこと。

5.7 図と表は一括して原稿の後に添付する。図については空所の下方に Fig. 1, 表については空所の上方に Table 1 と書き, 必ず表題および説明を入れること。本文に引用の図, 表は Fig. 1, Table 1 などとする。

5.8 図面ファイルの推奨解像度は, 線画の場合, モノクロ1ビット(白黒2値)1,200 dpi の TIFF ファイル, 白黒写真の場合, 8ビットグレースケール300 dpi の TIFF ファイルとする。カラー写真の印刷を希望する場合は, 24ビットRGBカラー350 dpi での投稿を推奨する。

図面の電子データは, Word, PowerPoint, またはイラストレーターなどを利用し作成すること。原則としてPDFで提出すること。

6. 参考文献

6.1 参考文献は重要なもののみにとどめ, 本文中の引用する箇所に^{1), 2), 3)} のよう上ツキの通し番号で示し, 本文の最後に文献の見出しを付け, 下の例に準じてまとめて記載すること。すでに引用した文献を繰り返す場合は引用する箇所に前出の番号を記すだけにする。

(雑誌掲載論文の場合): 筆者名: 題名. 雑誌名 (欧文名の場合はイタリック), 巻: 最初頁~最終頁, 発行年。

(編書の場合): 筆者名: 題名. 書名 (編集者名), 引用巻, 版数, 発行所, 同所在地, 発行年, 最初頁~最終頁。

(単行本の場合): 筆者名: 書名, 発行所, 同所在地, 発行年, 引用頁。

6.2 参考文献の略し方は最近の日本化学総覧または Chemical Abstracts に準じること。

6.3 複数の筆者名を列記する場合, “,” (カンマ) でつなぎ, 筆者名の間に and を入れないこと。

6.4 通しページの付いていない雑誌から引用する場合は号数を () 内に示すこと。

6.5 参考文献転用の場合は明示すること。

6.6 筆者自身の未印刷の研究を引用する場合は, 筆者名, 投稿誌名の後に「投稿中」または「in press」などとし, 必ず題目を記載すること。

6.7 英文の場合, 和文誌名は英語でなくローマ字 (例: Nippon Koshohin Gakkaishi) で記すこと。

[例] 1) 岡田穰伸, 矢尾板英夫: ヒト閉鎖貼布試験に関する研究. 日皮会誌, 106: 421-429, 1996.

2) 高橋元次: 皮表画像解析. 現代皮膚科学大系 (石橋康正, 今村貞夫, 田上八朗,

西川武二, 吉川邦彦編), 年刊版, 90-B, 中山書店, 東京, 1990, pp. 13-27.

3) Hamilton, J. B., Terada, H., Mestler, G. E.: Greater tendency to acne in white American than in Japanese populations. *J. Clin. Endocrinol.*, 24: 267-272, 1964.

4) Olesen, E. A.: Embryology and Anatomy of the Hair Follicle, Disorders of Hair Growth, Diagnosis and Treatment, McGraw-Hill, Inc., New York, 1994, pp. 1-19.

5) Bickers, D. R., Pathak, M. A.: The Porphyrias. In: *Dermatology in General Medicine*. (Fitzpatrick, T. B., Eisen, A. Z., Wolff, K., Freedberg, I. M., Austen, K. F. Eds.), 3rd edition, McGraw Hill, Inc., New York, 1987, pp. 1666-1715.

(翻訳本の場合)

6) カール・ラーデン, カール・B・フェルガー: 制汗剤とデオドラント (大場健吉監訳), フレグランスジャーナル社, 東京, 1995, pp. 317-318.

(孫引きの場合)

7) Leprevost, C., Capron, M., De Vos, C., Tomassini, M., Capron, A.: Inhibition of eosinophil chemotaxis by a new anti-allergic compound (cetirizine). *Int. Arch. Allergy Appl. Immunol.*, 87: 9-13, 1988. —Harris, D. W., Ostlere, L., Buckley, C., Johnson, M., Rustin, M. H.: Eosinophilic pustular folliculitis in an HIV-positive man: response to cetirizine. *Br. J. Dermatol.*, 126: 392-394, 1992 より引用。

7. 掲載論文原稿の提出

7.1 受理された論文の掲載にあたっては, プリントアウトした原稿2部を事務局宛に送付すること。かつ, 論文データが入った媒体 (原則としてCD-R) も併せて送付すること。「〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献社内 日本香粧品学会編集事務局」宛に郵送 (書留便) で提出し, 必ず copy を保管する。

7.2 提出媒体には, 下記内容明細を添付する。(1) 原稿番号, 論文名, 筆者名, (2) 使用機種, (3) 使用OS (Operating System) 名, (4) 使用アプリケーションソフト名。